

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

社会構造の変化の中、新しい社会や時代を生きる人間としての基盤となる力(生きる力)を養うことを目指す。そのために、子供の優れた個性を伸ばし、「知・徳・体」の調和のとれた人間形成を図るとともに、公共心を養い、個別最適な学びと協働的な学びの実現により子供の学びを深め、主体的に活動していく態度を培う。

＜教育目標＞	心豊かに、力いっぱいやる子の育成
＜めざす子供＞	・いのちの大切さを知り、健康でたくましい子 (体) ・創意工夫し、意欲的に学び続ける子 (知) ・礼儀正しく、心の通う仲間づくりをする子 (徳)

(2) 経営方針

ア 学ぶ喜びを感じる学校

子供が学ぶ意欲をもち互いに学びあうことを通して、成長を実感できる学校にする。

イ 個を生かす学校

自他の特性を理解し、一人一人の優れた個性や能力が発揮できる学校にする。

ウ あたたかい学校

明るい挨拶と快い返事、「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える学校にする。

エ 郷土に根を張る学校

子供が郷土への愛情をもち、家庭・地域と協働し、持続的で魅力ある学校にする。

オ 夢をはぐくむ学校

国際社会に生きる日本人として、未来の創り手となる資質や能力を育成する学校にする。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 子供の自己有用感を育む教育活動の推進

日々の教育実践や学校行事、子供の思いを生かした多様な体験活動等により、達成感や充実感等を味わわせることで、子供の自己有用感の高揚を目指す。

イ 主体的に学び続ける資質や能力の育成

「主体的・対話的で深い学び」につながる分かる授業・楽しい授業づくりを行うことや、チーム学習を推進し、「見通しをもつ」「人と関わる」「自らの考えを見直す」ことを意識した実践を通して、将来にわたって主体的に学び続ける資質や能力の育成を目指す。

ウ いじめ、長期欠席対応の充実

子供の変化を的確に捉え、子供や保護者に寄り添った対応を心がけるとともに、迅速かつ組織的な指導体制の構築を図ることで、子供が安心して通うことのできる学校を目指す。

エ 多忙化解消に向けた業務改善

教職員の心身の健康を保持するため、職場の多忙化解消に向けた業務改善を目指す。

- ・長時間労働の是正に向けた在校時間管理の適正化、タイムマネジメント能力向上を図る。
- ・職務環境の整備を進めるとともに、業務内容の精選や見直し、打ち合わせ等の効率化、校務分掌の適正配置により、教職員に過剰な負担とならない学校マネジメントに努める。
- ・部活動は、平日週3日以内、休日1日以内の活動とし、一定の休止期間を設けるとともに、顧問の指導体制の効率化を図ることで、教員の勤務時間外における負担を軽減する。
- ・学校・保護者・地域・関係諸機関との連携強化に努め、教育支援体制の整備に努める。

(4) 目指す教師像

ア 心身ともに健康で、常に笑顔で明るく振る舞うことのできる教師

イ 子供への深い愛情をもち、一人一人に心から寄り添いながら、子供とともに、喜び

を分かち合える人間関係を構築し、温かい指導・支援ができる教師
ウ 子供理解に努め、子供の良さを素直に認める優しさの中にも、間違いに対して毅然
とした態度で臨むことのできる教師